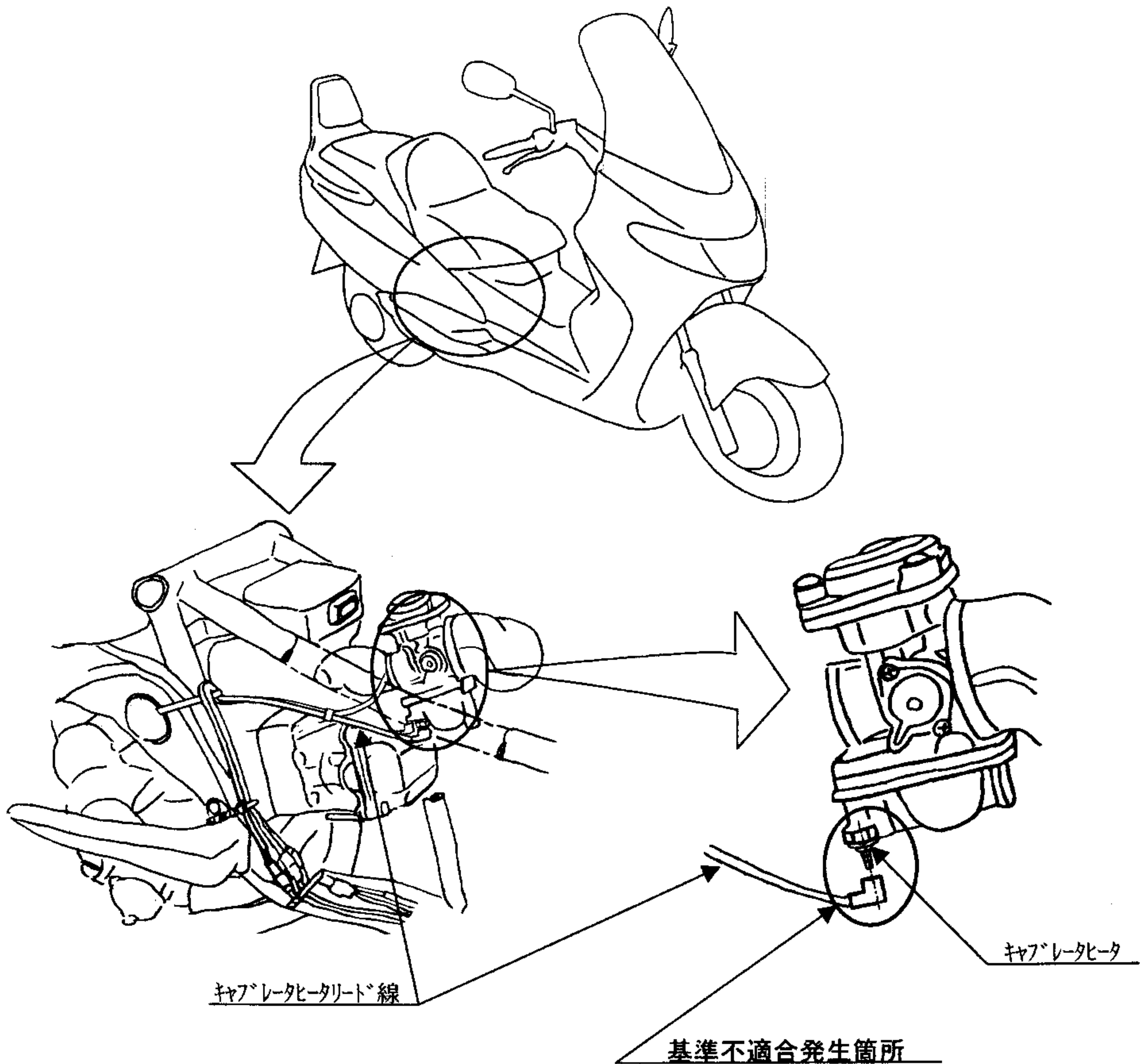


改善箇所説明図



電気装置において、キャブレタヒータの配線を誤って配索したものがあるため、走行中のエンジンの振動により配線が強く引っ張られ、キャブレタヒータ端子が折損して垂れ下がり、最悪の場合、折損した端子が周囲と接触して短絡し、点火システムのヒューズが切れ、エンジンが停止して再始動ができないおそれがある。

改善内容

全車両、キャブレタヒータの端子を点検し、

- ① 損傷しているものについては、キャブレタヒータを新品に交換すると共に、キャブレタヒータの配線をエンジン振動時にも張らない長さに再組付けする。
- ② 損傷していないものについては、キャブレタヒータの配線をエンジン振動時にも張らない長さに再組付けする。